

kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.144

10|11
2018



撮影:末武和人

CREATOR'S VOICE 163
嘉目真木子 ファンタスティック・ガラコンサート2018

上野水香プロデュースバレエ Jewels from MIZUKA II
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「華氏451度」
共生共創事業が始まります～10月より、県民共済みらいホールほか～

隔月刊:奇数月15日発行

様々なアーティストが競演するガラコンサートは刺激の多いフィギュアスケートの大会のように。緊張感を持って舞台上がる瞬間を存分に味わいたいと思います。

ファンタスティック・ガラコンサート 2018

神奈川県民ホール

嘉目真木子 ソプラノ



今年で13回目を迎える、神奈川県民ホール年末恒例の「ファンタスティック・ガラコンサート」。日本を代表する音楽家とバレエダンサーが一堂に会し、楽しくも贅沢な時間を過ごすことができると人気です。今年、このガラコンサートに初登場するのがソプラノの嘉目真木子。「これからの日本のオペラ界を背負って立つプリマ」として期待を一身に受ける歌姫の「歌にかける思い」とは。

「ガラコンサートはフィギュアスケート大会のようなもの」

——バレエと音楽という異なるジャンルのアーティストが集まる「ファンタスティック・ガラコンサート」について、どんな思いで臨まれるのか、まずは意気込みをお聞かせください。

実は、これまでにあまりガラコンサート

トに出演したことがなかったので、今回のお話をいただいてすごく嬉しかったです。バレエにしろ、オーケストラ作品にしろ、音楽とはまた違った魅力があると思うので、良い刺激をいただけるのではないかとワクワクしています。

一曲一曲違うアーティストが登場するガラコンサートは、オペラとはまた違う緊張感がありますね。前に登場した方が作った雰囲気の中で舞台に出て行つて自分の世界を作る……ちょうど、フィギュアスケートの大会みたいなイメージです。意志の強さも必要でしょうし、その場でパツと気持ちを切り替える瞬発力も重要かなと思います。自分自身が緊張感を持って舞台上がる瞬間というのが、実は演奏家にとつての大きな醍醐味と言えるので、今回はその時間を存分に味わいたいです。

——プログラムは、マスカーニの「ヴェ・マリア」と、レハールのオペレッ

嘉目真木子 Makiko Yoshime

国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラ研究所修了後、渡伊。二期会「魔笛」パミーナ、「フィガロの結婚」スザンナ、神奈川県民ホール「金閣寺」有為子ほか、A. バッティストーニ指揮「道化師」ネッダ等を演じ、好評を博す。本年はフランス国立ラン歌劇場「金閣寺」女、二期会「魔弾の射手」アガーテ等出演。シャネル・ピグマリオン・デイズ2017 参加アーティスト。二期会会員。





タ『メリー・ウィドウ』から『ヴィリアの歌』の二曲が予定されています。

この二曲は、指揮の松尾葉子さんに選んでいただきました。私自身、落ち着いたしっとりした曲が好きで、自分の声にもあっていると思うので、この二曲を選んでくださったのを本当に嬉しく思っています。

オペレッタの音楽というのはとても微妙なバランスが必要です。軽妙さは重要だけれども軽いだけではない、なんともいえない切なさがあって、それが聴く人の心を掴むのです。今回歌わせていただく『ヴィリアの歌』も、そういう意味ではまさにオペレッタらしいナンバーです。

——「ファンタステック・ガラコンサート」ですっと司会を務められているパルトンの宮本益光さんとはオペラでも共演していっていますね。

とても引き出しの多い方で、共演するたびにたくさん勉強をさせていただいています。また昨年、宮本さんが構成・演出・ナレーションを担当された黒い薔薇歌劇団の『魔笛』に出演したのですが、その時宮本さんのナレーションから、「演じる気持ち」というのを強く感じました。歌だけでなく、あらゆる「表現」から伝わってくるその思いに、歌い手として人

に何かを「伝える」ということの重みを感じました。

『魔笛』から得た、歌い手としての財産

——『魔笛』のパミーナは、これまでに何度も演じていらっしゃる、いわば嘉目さんの「当たり役」ともいえるべき役ですね。

2010年に故・実相寺昭雄さん演出の『魔笛』でパミーナを歌ったのが、本格的なオペラデビューだったのですが、その時から、役に対する考え方や演奏のアプローチはどんどん変化してきています。同じ役でも演じる側の年齢やキャリアによって変化する、たいへん幅のある役だと思っています。

——2017年には、神奈川県民ホールで勅使川原三郎演出の『魔笛』にも出演されました。

そのプロダクションでは、「演出によって表現がこれほど変化するのか」ということに大きな衝撃を受けました。それまではずっと「表現を外に出す」ということを要求されてきたのですが、勅使川原さんは逆に「外に出しすぎるな」とおっしゃったんです。最初はとても戸惑いましたが、最終的には、「表に見えないけれど中が燃

神奈川県民ホール 年末年始スペシャル 「ファンタスティック・ガラコンサート 2018」

2018年12月29日(土) 15:00 神奈川県民ホール(大ホール)

出演:松尾葉子(指揮) 宮本益光(司会・バリトン) 嘉目真木子(ソプラノ) 澤原行正(テノール)

上野水香、柄本 弾(バレエ(東京/バレエ団)) 吉見友貴(ピアノ) 石田泰尚(ヴァイオリン)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

[オーケストラ] ムソルグスキー(ラヴェル編曲):「展覧会の絵」よりプロムナード、キエフの大門

プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番より 第1楽章/ドビュッシー:小組曲より IV.バレエ/マスネ:タイスの瞑想曲 他

[オペラ] マスカーニ:アヴェ・マリア/レハール:「メリー・ウイドウ」よりウィリアの歌

ビゼー:「カルメン」より花の歌/グノー:「ファウスト」より 故郷を離れる前に 他

[バレエ] チャイコフスキー:「白鳥の湖」より アダージョ 他

全席指定 S 7000円 Sペア 13000円 A 5000円 B 4000円 C 3000円 学生(24歳以下・枚数限定) 2000円

www.artspress.jp

WEB
+a!

このマークの記事
にはWEB版だけの
+aコンテンツも!

歌手・嘉目真木子が目指すもの

えている状態」を表現するという新しい感覚を発見することができました。オペラの舞台で歌い手は、「役になりきって熱く表現しつつも、頭のどこかで自分を俯瞰していなければならぬ」とよくいわれます。勅使川原さんの『魔笛』では、まさにその状況を体感できた。これは、オペラ歌手として今後大きな財産になると思っています。

——これまで、歌手として着実にステップアップされてきた嘉目さんですが、ご自身のキャリアをどう捉えていらっしゃるのですか。

歌手としては、常に「無理をしない」ということを心がけてきました。今まで色々な役を歌わせていただきましたが、そうした役たちが、自分に無理を強いてきたことはありません。もちろん、その役を歌うということは常に挑戦ですが、終わってみると役から学んだことは多く、自分でもステップを踏んだという実感が持っています。

——では、今後の目標はどこにあるのでしょうか。

声楽を学び始めた時から、日本ではオ

ペラがほんの一部の人の趣味と考えられているのが残念だな、と感じていました。オペラの魅力を一人でも多くの人に届けたい、これまでにオペラに触れたことのない方にも知っていただきたいと思ってきたのですが、この十年かけて、それを実現するにはまず自分自身が一流にならなければいけない、ということ学びました。ですから、今よりも来年、来年よりも再来年、と成長していくことが大切だと思っています。

そうした自分自身の成長と並行して、若い人たちにオペラを観てもらうための具体的な発信をする、ということも考えていきたい。オペラ・ファンだけでなく色々な方が聴きにいらつしやる「ファンタスティック・ガラコンサート」のような公演に出演させていただくことは、そのための大きなステップになると確信しています。

——嘉目さんの「ファンタスティック・ガラコンサート」にかける熱い思いが伝わってきました。

年末というのは、新年に向けて気持ちをはやる時期です。そういうテンションが上がっていく時期に、ゴージャスなコンサートでさらに気分を高めて新年を迎えていただけたら嬉しいのです。

my hall myself

私にとつての神奈川県民ホール

神奈川県民ホールには、これまでに、2015年の『金閣寺』(田尾下哲演出)と17年の『魔笛』(勅使川原三郎演出)の二回、出演させていただいています。実際に舞台上立って強く感じたのは、空間の広がりでした。ホールというのは閉じられた空間ですが、県民ホールの持つ「広がり」は、そうした「閉じられている」という感覚から解放してくれ、実に気持ちよく歌うことができます。また、海に近く、おしゃれで特別なイメージのある横浜の街の風景に溶け込んでいるのも素敵なおところ。「歴史と気品のあるホール」である神奈川県民ホールのリニューアルした舞台に立てるのが、今から楽しみです。

取材・文:室田尚子 撮影:末武和人

WEB
+a!

神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2018

グランドオペラ共同制作

ヴェルディ作曲 オペラ「アイーダ」

2018年10月20日(土)・21日(日) 各日14:00 (大ホール)

演出:ジュリオ・チャバッティ

原演出:マウリツィオ・ディ・マッティア

指揮:アンドレア・バッティストーニ

管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団

出演(20日/21日)

アイーダ:モニカ・ザネッティン/木下美穂子

ラダメス:福井 敬/西村 悟

アムネリス:清水華澄/サーニャ・アナスタシア

アモナズロ:今井俊輔/上江隼人

ランフィス:妻屋秀和/斉木健詞

国王:ジョン・ハオ/清水那由太

巫女:針生美智子/松井敦子 伝令:城 宏憲/菅野 敦

合唱:二期会合唱団

バレエ:東京シティ・バレエ団 他

全席指定 S 16000円 A 13000円 B席以下売切

学生(24歳以下・枚数限定)2000円

音楽のおくりもの

未来に羽ばたくオペラ歌手たちによる

「アイーダ」コンサート

2018年10月12日(金) 14:00 (小ホール)

構成・指導:菊池裕美子 ピアノ・指導:石野真穂

全席指定500円 休憩なし60分

青島広志のたのしい名作オペラ講座

オペラ「アイーダ」の魅力

2018年9月29日(土) 14:00 (小ホール)

出演:青島広志(お話・ピアノ) 津山 恵(ソプラノ)

磯地美樹(メソソプラノ) 澤田浩一(テノール)

全席指定 一般2000円 学生(24歳以下・枚数限定)1500円

アイーダ特設Webサイト

www.kanagawa-kenminhall.com/aida/



ローマ歌劇場「アイーダ」ローマ・カラカラ浴場遺跡公演より

提供:ローマ歌劇場

神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2018 グランドオペラ共同制作

ヴェルディ作曲 オペラ「アイーダ」

神奈川県民ホール

オペラの醍醐味すべてが詰まった不朽の名作



10月に県民ホールで上演されるオペラ「アイーダ」は、札幌を皮切りに神奈川・兵庫・大分と日本を縦断する全6公演の豪華プロジェクト。3月に行われた制作発表では、ミラノ・スカラ座など著名な歌劇場で指揮を執ってきたアンドレア・バッティストーニが『アイーダ』は舞台が大規模な一方、人物の内面が繊細に描かれていてその対比が際立つ傑作。オペラを初めて観る人も楽しめる演出」と語り、本公演が日本での自身の活動の集大成になるとの思いを示しました。またラダメス役の福井敬は「これぞイタリア・オペラ! といえるグラント・オペラですが、本質にあるのは人間とは究極的には



©西野正将

記者発表に出席した(左から)清水華澄、アンドレア・バッティストーニ、福井敬

愛に生きるものという深い心理が描かれています」とコメント。アムネリス役の清水華澄は「2011年の震災時に『アイーダ』が中止になったことを思い返し、今の舞台に参加できる喜びを噛みしめます」と語りました。

この公演に先立ち、8月4日にはアンダースタディ選出のオーディションが行なわれました。選ばれた歌手は本公演の稽古やリハーサルに参加、練習代役として控えながらオペラ制作の現場で研鑽を積み、その成果を10月12日のコンサートで発表します。未来のオペラ歌手たちによるフレッシュな歌声に、どうぞご期待ください。

また県民ホールでは、オペラ制作やアートマネジメントを学ぶ学生を対象に制作インターンを募集し、オペラ制作のプロセスを現場で学ぶ機会を提供しています。スタッフとして舞台裏からオペラを支え舞台芸術をより身近に感じること、将来オペラ制作に携わるきっかけとなる貴重な体験になるかもしれません。そして今年もオペラ鑑賞の前に聴きどころや見どころを紹介する人気のプレレクチャー「青島広志のたのしい名作オペラ講座」を開催します。オペラ・アリアの生演奏と青島広志の軽妙なトークをたっぷりお楽しみください。



2014年 Jewels from MIZUKA公演より

©Kiyonori Hasegawa



上野水香



上野水香プロデュースバレエ Jewels from MIZUKA II

神奈川県民ホール

ダンサーたちの個性が煌めく特別なステージ!

しなやかで美しい身体と抜群のテクニックで、ローラン・プティをはじめ世界的振付家や観客を魅了し続け、東京バレエ団のプリンシパルとして活躍する上野水香。自身が2014年にプロデュースし、絶賛を博したバレエ・ガラ「Jewels from MIZUKA」の第2弾が、今秋いよいよ実現します。

上野水香と親交の深い豪華ダンサーが一堂に会し、文字通り宝石のような煌めきを放つ本公演。世界的なスターダンサー、ウラジミール・マラーホフとマルセロ・ゴメスをゲストに迎え、国内外で活躍する日本人ダンサーたちが集結します。上野水香は、ゴメスと「リベルタンゴ」を初共演するほか柄本弾とプティ振付の「ボレロ」(パ・ド・ドウ版)に挑むことも

話題になっています。下村由理恵、今井智也、小野絢子と福岡雄大、渡辺理恵、京富侑一、沖香菜子、秋元康臣ら日本を代表するプリンシパル級ダンサーが、古典の名作パ・ド・ドウを披露するほか、マラーホフは元ベルリン国立バレエ団針山愛美と共に島崎徹作品、小野絢子と福岡雄大は気鋭の振付家、宝満直也が彼らのために振付けた作品、ベジャールバレエ団でも活躍した吉岡美佳はベジャール作品のソロを踊るなど、個性が光る珠玉のラインナップです。

ダンサーとして今、最高の輝きを放つ上野水香が贈る、宝石箱のようなバレエ・ガラ。神奈川県民ホールでしか観ることのできない特別なステージに、どうぞご期待ください。

上野水香プロデュースバレエ Jewels from MIZUKA II

2018年11月17日(土)〈大ホール〉

ボレロ ローラン・プティ振付

出演:上野水香 柄本 弾

カルメンより アルベルト・アロンソ振付

リベルタンゴ 高岸直樹振付

出演:上野水香 マルセロ・ゴメス

「海賊」より

出演:上野水香 柄本 弾 秋元康臣

「ロミオとジュリエット」より

バルコニーのパ・ド・ドウ 篠原聖一振付

出演:下村由理恵 今井智也

Manon la mou モーリス・ベジャール振付

出演:吉岡美佳

Craze of before dawn 宝満直也振付

出演:小野絢子 福岡雄大

「白鳥の湖」第2幕より アダージョ

出演:渡辺理恵 京富雄一郎

Absence of Storyよりパ・ド・ドウ 島崎徹振付

出演:針山愛美 ウラジミール・マラーホフ

「ラ・シルフィード」より

出演:沖 香菜子 秋元康臣

新作 高橋竜太振付

出演:高橋竜太 西村真由美 伝田陽美

上田実歩 中沢恵理子

岡崎隼也 松野乃知 梅澤紘貴 長瀬直義

◎その他、出演者演技調整中

※音楽は特別録音音源を使用

全席指定 S 9000円 A 7000円 B 5000円

C 3000円 学生(24歳以下・枚数限定)2000円



神奈川芸術文化財団芸術監督プロジェクト

メモリー・オブ・ゼロ

Memory of Zero

神奈川県民ホール

音楽・演劇・ダンス界のトップアーティストが創る、
ダンスパフォーマンス！

作曲家の柳慧と演出家の白井晃
神奈川芸術文化財団の二人の芸術監督
による共同プロデュース公演最新作！
2019年は「ダンスはどこへ向かうの
か？」をテーマに、クラシックバレエか
らコンテンポラリーダンスまで、数多く
の歴史的名演が繰り広げられてきた神奈
川県民ホールから、ダンスの現在を問い
かけます。音楽を柳慧、構成・演出を
白井晃が担当。振付は、ベルギーでの建
築家とのコラボレーションや横浜バレエ
フェスティバルの芸術監督など、多彩な

才能を発揮する遠藤康行。ダンスは、ダ
イナミックな踊りと圧倒的な存在感で
観客を魅了する小池ミモザ（モナコ公国
モンテカルロ・バレエ団プリリンシバル）
のほか、出演ダンサーをオーディション
により選出。世界の音楽・演劇・ダンス
界で活躍するトップアーティストが集ま
り、「身体と記憶」をテーマにした新作を
お届けします。バレエ、ダンスファンは
もちろん、音楽、演劇ファンも必見の刺
激的なステージをどうぞお見逃しなく！



一柳 慧

©Koh Okabe



白井 晃

©二石友希



遠藤康行



8月に行われた宣伝写真の撮影の様子。
小池ミモザさんの美しいポーズに現場は大い
に盛り上がりました

2019年3月9日(土)・10日(日)

〈大ホール〉

音楽：一柳 慧 構成・演出：白井 晃

振付：遠藤康行 出演：小池ミモザ(ダンス) 他

全席自由 一般6500円 学生3000円(予定)

KAme会員先行10/20(土) 一般発売11/3(土・祝)

詳細は近日発表

出演ダンサー募集！

2018年11月12日(月)オーディション開催。

詳細は神奈川県民ホールHPで！



エルワン・ル・ブラド 青木早希

エルワン・ル・ブラド&青木早希
オルガン・クリスマスコンサート
～ノエルを歌う七色の人物像と音のダンス～

神奈川県民ホール

世界で最も権威あるシャルトル・オルガン
国際コンクールで優勝したエルワン・ル・
ブラドと青木早希。フランスを拠点に世界
各国で活躍する二人が、クリスマスにぴつ
たりのノエル(クリスマス・キャロル)と舞
曲、メシアン、アランなどフランスを代表
するオルガン音楽を中心に多彩なプログラ
ムをお届けします。当代きつての名手によ
る豪華デュオをお楽しみください。



2018年12月23日(日・祝) 15:00

〈小ホール〉

出演：エルワン・ル・ブラド(オルガン)

青木早希(オルガン)

メシアン：主の降誕

バルトーク：ルーマニア民族舞曲

アラン：連祷

ダンドリュー：「ノエル集」より 他

全席指定

一般3500円 ペア6500円

学生(24歳以下)2000円

KAme先行9/15(土)

一般発売9/22(土)



2017年公演より

©藤本史昭

第53回クリスマス音楽会
ヘンデル「メサイア」
全曲演奏会

神奈川県立音楽堂出張公演

2018年12月8日(土) 13:30

相模女子大学グリーンホール

出演：小泉ひろし(指揮)

山口清子(ソプラノ)

彌勒忠史(カウンターテナー)

中嶋克彦(テノール)

青山 貴(バリトン)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

神奈川県合唱連盟

音楽堂「メサイア」未来プロジェクト合唱団

〈県立光陵・相模原中等教育学校・逗子・

多摩、法政第二 各高等学校合唱部〉

全席指定 一般1500円

車椅子1500円(付添1名無料)



53回目を迎える音楽堂年末恒例の「メサイ
ア全曲演奏会」。今年は改修工事のため、相
模女子大学グリーンホールにて開催します。
世代を超え、高らかに響く「ハレルヤ」、
圧巻のハーモニーをお楽しみください。

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース
「華氏451度」

KAAT神奈川芸術劇場

書物が禁止された近未来が訪れたら、あなたはどのように生きていきますか？



上段左より吉沢 悠、美波、堀部圭亮、吹越 満。下段左より栗野史浩、土井ケイト、草村礼子、白井 晃

この秋、KAAT神奈川芸術劇場では、読書や書物の所持すら禁じられた近未来の超管理社会を舞台に、現代社会を鋭く風刺したアメリカの作家レイ・ブラッドベリの傑作小説が舞台化されます。1966年には、フランソワ・トリュフォー監督が映画化し、話題となった作品。今回は、演劇界の旗手・長塚圭史が上演台本を、白井晃KAAT芸術監督が演出を手がけます。

隠されていた本が発見された場合、「ファイアマン」によって没収され、焼却されるばかりか、所有者は逮捕されてしまう近未来。ファイアマンの仕事に誇りを持ち、模範的隊員だったガイ・モンターグは、クラリスという女性と出会ったのをきっかけに、それまでの自分たちの所業に疑問を抱き、仕事現場から隠れて本を持ち出すようになります。本を読むにつれて徐々に自身を取り巻く社会への疑問が膨らみ、いつしか追われる身となり――。

演出の白井は「この作品の題材になっている『焚書』には、ナチスをはじめとする国家体制を維持するための思想弾圧のイメージがついて回ります。でも私は、この物語をそのように描いてはいけなと思っています。人類が自ら考えることを放棄する中、主人公のモンターグは、これでもいいのか？ 俺たちは、今、どこに立っているんだ？ という疑問を持ちます。一人の作家が血みどろになるほど格闘し、何万語を費やして著した書物には、それだけの深さと過去の叡智が詰まっています。これは、そのことを改めて認識し、体験し、個を確立していく

自己回復の物語です」。

主人公のガイ・モンターグ役を吉沢悠、モンターグの妻と彼に影響を及ぼすクラリスの二役を美波、彼を追いつめる上司役に吹越満、と実力派俳優たちがどんな演技を見せてくれるのか見逃せません。ぜひご期待ください。

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース
「華氏451度」

2018年9月28日(金)～10月14日(日)

KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉

原作:レイ・ブラッドベリ

上演台本:長塚圭史

演出:白井 晃

音楽:種子田 郷

出演:吉沢 悠 美波

堀部圭亮 栗野史浩 土井ケイト 草村礼子

吹越 満

全席指定 S 7000円 A 5000円

U24 3500円 高校生以下1000円 シルバー 6500円



共生共創事業 平成30年度主なラインナップ

- 10月 ●さいたまゴールド・シアター 「ワレワレのモロモロ2018」
- 11月 ●ベトナム・ルーン・プロダクション ワークショップ
●テュルクノイ(国際テュルク文化機構) 結成25周年記念コンサート
- 12月 ●Experimental Gig 「FuturamaX / フューチャラマックス」
- 2019年
- 1月 ●ストリートダンス公演 「S.A.K.E.B.U」
- 2月 ●TPAM・国際舞台芸術ミーティング in 横浜2019
関連イベント
- 3月 ●ストップギャップ ダンスカンパニー 「エノマース・ルーム」
会場:あすぶらざ(神奈川県立地球市民かながわプラザ)
- かながわ高齢者創作創造プロジェクト
「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」 プレゼンテーション&説明会

※会場は特別に記載がない場合は県民共済みらいホールとなります。

共生共創事業が始まります
~10月より、県民共済みらいホールほか~

ともに生きる ともに創る

KANAGAWA ALL-COMERS STAGE

共生共創事業

共生共創事業ロゴマーク

公式サイト kyosei-kyoso.jp



今年度より、県の重点施策である「共生社会の実現」「未病」「多様性」などをテーマにした新たな舞台芸術関連の事業をスタートさせることとなりました。

運営については公益財団法人神奈川芸術文化財団が、KAAT神奈川芸術劇場、神奈川県民ホール、県立音楽堂でのノウハウを活用し、舞台芸術を通じたボーダーレスな創造活動に向け、実践的に取り組んでいきます。

実施にあたっては、横浜市中区の桜木町駅前にある「県民共済みらいホール」を主な拠点とし、県域各地で活動している団体などとも連携をはかりながら、事業を行っていきます。鑑賞の機会を増やすだけでなく、参加型企画やワークショップなどを多面的に展開していき、県民の皆さまをはじめ多くの方々に多様な文化芸術に触れる機会や実際に参加する場を創ることで、障がいや年齢などに関わらず、子どもから大人まですべての人が「ともに生きる」



「ワレワレのモロモロ ゴールド・シアター 2018春」より ©宮川舞子

さいたまゴールド・シアター
「ワレワレのモロモロ2018」

TC

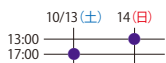
2019年10月13日(土)・14日(日)

県民共済みらいホール

構成・演出:岩井秀人

出演:さいたまゴールド・シアター ユニット

全席指定 一般 3500円 U24 1750円

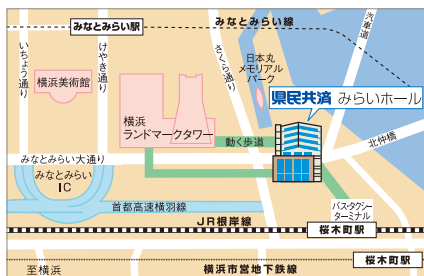


「ともに創る」社会の実現に寄与することを目指します。

第一弾 高齢者演劇集団
さいたまゴールド・シアター
「ワレワレのモロモロ2018」

世界的演出家・蜷川幸雄氏(2016年没)の下、2005年に55歳以上の劇団員で旗揚げした同劇団は、県内での活動に留まらず、国内はもとより、パリ、香港等での海外公演も成功させ、現在67歳から92歳までの36名(2018年7月現在)で活動しています。

2013年に初の県外公演としてKAAT神奈川芸術劇場で「鴉よ、おれたちは弾をこめる」が上演されましたが、以来5年ぶりの横浜公演となります。



access

県民共済 みらいホール 横浜市中区桜木町1-1-8-2 県民共済プラザビル1F

- JR 根岸線「桜木町」駅下車 徒歩約3分
- 横浜市営地下鉄「桜木町(県民共済プラザ前)」駅下車 徒歩約7分
- みなとみらい線「みなとみらい」駅下車 徒歩約10分

※一部事業について、別会場で実施するものもございますので、必ず会場をご確認ください。※駐車場はございません。

主催:神奈川県 協力:神奈川県民共済協働組合



ともに生きる: ME-BYO®

県民共済

KAAT
KANAGAWA ARTS THEATRE

知れば、
知るほど、
好きになる

演劇の小箱

トウシューズ



トウシューズはバレエの象徴です。バレエ、特にクラシック・バレエは、つま先で立つて踊るためにトウシューズを履かなければ、テクニックの面でも表現の面でも成立しません。

バレエが発展した19世紀前半のヨーロッパはロマン主義の時代で、幻想的、超自然的、神秘的なものへの憧れが顕著となりました。バレエでは、この世のものでない妖精や精霊を演じるために、ポアント（つま先で立つこと）技法が生まれ、トウシューズの開発が進みました。バレリーナは、トウシューズを履き薄いチュールを重ねた膝丈くらいの白いチュールを身につけて、「ラ・シルフィード」や「ジゼル」といった作品でふわりふわりと浮遊する妖精を踊ったのです。現実に妖精がいるかのように見える舞台に、観客は熱狂しました。

トウシューズが開発されポアント・テクニックが発展することによって、回転やポーズ、ポーズを取ることに

よるバランス、体全体のラインといったバレエ独特の美しさがどんどん進化していきました。こうしてどの瞬間を切り取っても美しいバレエ芸術は、トウシューズなくしてはあり得なくなったのです。

トウシューズにはリボンが縫い付けられており、このリボンを足首に

巻きつけて履きます。ダンサーは必ずこのリボンを自分でシューズに縫い付け、ほかにこまごまと自分の好みに合わせてカスタマイズします。プロのダンサーはシューズをオーダーしている人も多く、それをさらに足にフィットするよう工夫しています。

トウシューズは習い始めてすぐに履きこなせるものではありません。幼い頃から基本の練習を積み、体幹を鍛え筋肉をつけ骨の成長も待つてようやく履くことが許されます。小さなバレエ少女たちは、まずはトウシューズが履けるようになることが目標、その日を夢見てレッスンに励んでいるのです。

文・結城美穂子

楽器ミュージアム

ヴィオラ

オーケストラの前方に、半円を描いてずらっと並ぶ弦楽器群。以前、本コーナーでご紹介したヴァイオリンとチェロの間にある、ヴァイオリンそっくりですがひとまわり大きな楽器。これがヴィオラです。

4本の弦を弓で擦って音を出すという構造はヴァイオリンと同じですが、サイズが大きい分、ヴァイオリンよりも低い音を出します。4本の弦はヴァイオリンの弦よりそれぞれ5度低い「ド・ソ・レ・ラ」。これは、チェロの弦と同じ音なのですが、どれもチェロより1オクターヴ上の音になります。このヴィオラの音域は、人間の声にもっとも近いのだそうです。

また、ヴィオラの弓はヴァイオリンより短く、重くなっています。

オーケストラの中でのヴィオラの役割は、華麗なヴァイオリンと深く暖かな響きのチェロとの間で合奏を支えハーモニーを豊かにする名脇役といったところでしょうか。

ヴィオラは、ヴァイオリンと同じく16世紀前半の北イタリアで誕生しました。以後、ヴァイオリンと同様に、ボディを補強し駒や指板の位置を高くして弦の張力を強め、弦を羊の腸からスチールに変えて、より大きく均一な音を出すための改良が進められました。奏法がよく似ているので、ヴィオラとヴァイオリン両方を演

長年、脇役に甘んじていたヴィオラですが、とりわけ20世紀初頭からヴィオラの名手が次々に登場し、ヴィオラ独奏のための作品も作曲されるようになっていきます



奏する音楽家が数多くいます。

ヴィオラは、皆ほぼ同じサイズのヴァイオリンと違って楽器ごとにかなりばらつきがあります。小型なものはヴァイオリンのような響きがしますし、大きめだとチェロのような音を出します。ヴィオラをみかけたら、その大きさと響きにぜひご注目を。



イラスト：遠藤裕喜奈

アーサー・ミラー 「荒馬と女」

1956年6月29日、アメリカを代表する劇作家アーサー・ミラーは映画女優のマリリン・モンローと結婚します。「セールスマンの死」でピュリッツァー賞、トニー賞を受賞した現代演劇の旗手とハリウッドのセックス・シンボルとの結婚は世界中を驚かせました。

孤児院や里親のもとで育ったモンローは完璧な家庭を求め、ミラーとの子供を持つことを夢見ます。しかし、子宮外妊娠や流産など、立て続けに不幸に襲われるのです。モンローは以前から常用していた酒と睡眠薬を乱用するようになり、事故とも自殺未遂ともわからない過剰摂取を繰り返します。ミラーは自らの仕事そっちのけで、彼女の世話をすることとなるのです。

そんな時期に発表された数少ない作品の一つが、1957年の小説「The Misfits」（不適合者）です。これをミラーはモンロー主演の映画としてシナリオ化します。ジョン・ヒューストン監督「荒馬と女」です。離婚したばかりの東部女ロズリンは、ネバダ州リノで、時代に取り残されたカウボーイのゲイと知り合い一緒に暮らすこととなります。二人はゲイの仲間と一緒に野生馬狩りに出掛けるの

ですが、ロザリンはかつては乗馬用に売られていた馬たちが今ではドッグフードの材料として売られていることを知ります。しかしゲイは生き方を変えることができず、それがもとで別れることになる物語です。

ミラーはゲイの口を借りて語ります「みんな誰かを犠牲にして生きている」「何の悪気もなく自然に始まったことが、いつの間にか悪いことになっている」。ラストシーンでロズリン＝モンローは問います「暗闇の中でどうやって道を探すの?」。ゲイは答えます「あの大きな星を追うのさ。その下に道がある。それが正しい家に連れて行ってくれるのさ」。

1961年1月20日にミラーとモンローは離婚します。演劇界と映画界の二大スターは別々の道を選んだのです。

同年2月1日に「荒馬と女」は公開され、翌1962年8月5日にモンローは睡眠薬の過剰摂取で亡くなります。ミラーとの共同作品が彼女の遺作となりました。

アーサー・ミラー Arthur Miller (1915～2005)

アメリカ合衆国の劇作家。代表作は「セールスマンの死」、「民衆の敵」、「るつぽ」など。演劇・映画・ラジオドラマの脚本、小説、評論で活躍。2001年に高松宮殿下記念世界文化受賞。

Creative
Neighborhoods
街と
住まい

第2回

西区の木造密集市街地

斜面地に住まうー
横浜の密集市街地にみる地形を活かした空間と暮らしの未来



丘陵地・横浜西区の木造密集市街地

寺田真理子

横浜国立大学都市イノベーション研究院准教授。キュレーター。1990年日本女子大学家政学部住居学科卒業。90-99年鹿島出版会SD編集部。99-2001年「Towards Totalscape」展(オランダ建築博物館)、02年「ルイス・バラガン」展(東京都現代美術館)のキュレーション、企画を担当。07年～横浜国立大学大学院「Y-GSA」特任講師。18年～現職。主な共著に『Creative Neighborhoods—住環境が社会を変える』(誠文堂新光社、2017年)

*アマルフィ：イタリアのナポリに近いカンパニア州に位置し、海岸に面した複雑な地形をもつ丘陵地に立つ都市。中世の早い時期から人々が住み始めた、通風採光に恵まれ眺望を享受できる優れた立地の住宅地。ユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録される高級リゾート地。



Y-GSAが提案する西区の居住モデルの路地的空間での活動イメージ(設計:篠原明理、連 勇太郎)



斜面地を生かした居住モデルのイメージ

野毛山公園を越えた高台にある横浜の

代表的な西区の木造密集市街地(以下、木

密)。小さな木造2階建てや3階建ての住宅がところ狭しと斜面に沿って立ち並ぶ。

横浜の都心から直線距離で2km強と立地条件もよく、海拔41mという丘陵地からのみとみらいを臨む眺望は美しい。木

密としては見晴らしが良い上、風通しも良い住環境である。この西区には、地形

が複雑に入り組んだ結果生まれた隙間や路地を生活空間としてうまく使いこなす、

数々の興味深い空間がある。住民たちの知恵と創造力による、ユーモアとセンス

にあふれたヒューマンなスケールの空間が地域に馴染んでいる。

筆者は、横浜国立大学都市イノベーション学府Y-GSAの大学院生たちと

2016年から2年間かけて西区の木密における住環境の調査を行った。その調査から、前述の地形をいかした木密地域

らしい空間の使い方の発見と同時に、さまざまな課題がみえてきた。未接道のた

めに建て替えができない住宅、地域の高齢化と共に起こる住宅の老朽化、空き家

の増加である。また火災による延焼、土

砂災害の危険性も大きな課題である。では、その課題を解決し西区の未来を考える時、どのような町の将来像を描き、更新していくのが良いのだろうか。

その方法のひとつとしてY-GSAの若

手建築家一人を中心に「横浜西区のアマルフィ」*と私たち名付け、眺望の素晴らしい斜面地の一面を仮の敷地として想

定し、居住モデルを考えてみた。居住者が組合をつくる「コーポラティブ」の仕組

みを使って、数世帯の土地をひとつに統合し、接道させて共同建て替えを行うと

いう提案である。賃貸住戸も含む集合住宅の提案であり、不動産としては価値が

上がる想定だ。一番の特徴は、眺望を確保し、西区らしい路地的な空間を取り込む

ことで、住人同士がさまざまな形で路地空間を共有しながら、コミュニティの新たな関係性を築いていく空間設計である。

今、日本の木造密集市街地の更新を考える上では、他人任せの大型の開発ではなく、住民たち自身が小さな単位で町を

更新し、運営していくことが大切ではないだろうか。地域の歴史・文化や空間的特性を継承する空間の設計と使い方は、そ

の地域らしさを反映した「クリエイティブ・ネイバーフッド」創造的な地域社会とな

り、住人たちの愛着と誇りを生むだろう。

かながわ
芸能
歳時記

第15回

稚児たちの見事なバチさばき
善部妙蓮寺の曲題目

(横浜市旭区／妙蓮寺／10月)



片辺の綾取り芸を披露する子どもたち

WEB
+a!

*御会式・宗祖日蓮の命日に合わせ行われる祭り。
監修… 神奈川県民俗芸能保存協会会長 石井一躬
協力… 横浜市旭区役所地域振興課生涯学習支援係
善部妙蓮寺曲題目保存会
写真提供… 善部妙蓮寺曲題目保存会

住所: 神奈川県横浜市旭区善部町66 (善部妙蓮寺)
交通: 相模鉄道線「希望ヶ丘」駅からバス(系統旭18、旭88、旭90)にて「善部第2」下車 徒歩5分
日時: 2018年10月13日(土) 14:00~
お問合せ: 横浜市旭区役所地域振興課生涯学習支援係 045-954-6099
善部妙蓮寺曲題目保存会 045-391-0455

善部妙蓮寺の曲題目は、毎年10月の御会式に奉納されます。南無妙法蓮華經のわずか七文字のお題目に12通りの節をつけて、うちわ太鼓を打ちながら唱えるもので、江戸末期ごろ、藤沢片瀬の伝兵衛という人から伝えられたと言われています。県の指定無形民俗文化財です。

当日は、妙蓮寺本堂に作られた雛壇に色鮮やかな衣装を身にまとった稚児たちが座り、長老たちの唱える題目に合わせて、左手に漆塗りのツツミ太鼓を持ち、右手には両端に真っ赤な房のついた綾バチを持って、見事なバチさばきを披露します。使うバチの本数で芸の種類が変わり、1本の場合には片辺、2本の場合には双辺と言います。バチのさばき方は24通りあり、それを組み合わせて演じるのです。手さばきの見た目から「綾取り芸」と呼ばれます。寺院の御会式に子どもが綾取り芸を披露する全国でも珍しい稚児芸です。

●同時期(10、11月)開催のその他の祭り
初山の獅子舞(川崎市宮前／善生神社／10月7日)
海南神社の面神楽(浦市／海南神社／11月12日、13日)

more! カナガワ

神奈川フィルハーモニー管弦楽団
定期演奏会みなとみらいシリーズ第344回

2018年11月17日(土) 14:00 横浜みなとみらいホール
指揮: ロリー・マクドナルド
エルガー/序曲「南国にて(アラッショ)」 ワーグナー(デ・フリーヘル編曲)/
「ニーベルングの指輪」～オーケストラ・アドヴェンチャー～
全席指定 S 6000円 A 4500円 B 3000円 ユース(25歳以下)当日のみ1000円
神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 (平日10:00-18:00)
www.kanaphil.or.jp/ @kanagawaphil @instagram.com/kanagawaphil

神奈川近代文学館

特別展「寺山修司展 ひとりぼっちのあなたに」

2018年9月29日(土)～11月25日(日)
開館時間: 9:30-17:00 (入館は16:30まで) 休館日: 月曜日(10/8は開館)
若くして短歌に才能を発揮し、詩歌、小説、エッセイから演劇、映画、テレビなどあらゆる表現の可能性に挑み続けた寺山修司(1935-1983)。その創作活動の全容を紹介する。
観覧料: 一般600円(65歳以上・20歳未満割引有り/中学生以下は無料)
TEL.045-622-6666 www.kanabun.or.jp

神奈川県立近代美術館 葉山

開館15周年記念 アルヴァ・アアルト——もうひとつの自然

2018年9月15日(土)～11月25日(日)
開館時間: 9:30-17:00 (入館は16:30まで) 休館日: 月曜日(9/17、24、10/8は開館)
観覧料: 一般1200円 20歳未満・学生1050円 65歳以上600円
高校生100円
TEL.046-875-2800 www.moma.pref.kanagawa.jp

神奈川県文化課

第4回全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル

全国の高校生が熱いダンスパフォーマンスを繰り広げる「第4回全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル」の決勝を開催。応募チームの中から、オンライン審査、予選を通過したチームが出場します! 当日の様子は、J:COMで放送します。
2018年11月4日(日) 13:30～16:30 (予定) (関東予選9:00～12:00(予定))
会場: 日本大通り・神奈川県庁前特設ステージ(雨天時: 横浜市開港記念会館 講堂) 入場無料
TEL.0466-60-7550 (第4回全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル実行委員会運営事務局)

My Roots My Favorites

美波
(女優)

さまざまな人と出会い、挑戦をして、自分ならではの人生を送る



昔父とフランス映画を見るのが好きで、7歳の時に「いつかこの中に入りたい」という気持ちが芽生えたのを覚えています。それがきっかけで児童劇団に入り、日本語の上達のために日仏学校から日本の学校に編入しました。ある日、エキストラとして観客席に座っていたところを芸能事務所の方に声を掛けられ、本格的に役者の道を歩むことになりました。

演劇は演出家、スタッフ、役者、すべての力が結集された総合芸術。私は何よりも光のある空間芸術が好きで、そこに立てることに幸せを感じます。そこに立つ役者には、自身の芝居一つで編集やクローズアップをする映画監督のような視点を持つことも必要だと思っています。その責任を果たし、お客さんの呼吸や、相手役とのやりとりによって日々変化していくのが舞台の魅力。精神的、体力的にタフでなければならず、人間として学ぶことも多いです。

今はパリと日本を拠点に活動していますが、パリに初めて訪れたのは18歳の時。「ここは自分と同じリズムだ」と感じるくらい自分らしくいられる場所です。フラ

ンスと日本の両国に住み、たくさんの人に出会い、さまざまな経験ができたことは幸せです。初めて会う人でもその人に歴史があることを知ります。みんな意外と脆くて、優しく、チャーミング。人や外の世界に興味を持つことで世界は広がります。枠を壊し、どんどん挑戦していくことを糧に、自分にしか送ることのできない人生を歩みたいです。

バーチャルな世界は悲しいものです。本人の足と心で“生のもの”を感じることは素晴らしいと思います。そこには自身にしか体験できない出会いがあり、発想があるからです。それは演劇も同じです。

(聞き手・文:今井浩一)

美波 Minami

2000年、深作欣二監督「バトル・ロワイヤル」で映画デビュー。以降、映画やテレビドラマ、舞台などで活躍。2015年に文化庁新進芸術家研修でパリのジャック・ルコック国際演劇学校に1年間在籍。現在は日本とフランスを拠点にワールドワイドに活動している。今年上映された映画「vision」(河瀬直美監督)では主演のジュリエット・ピノシュのアシスタント兼通訳役で出演している。

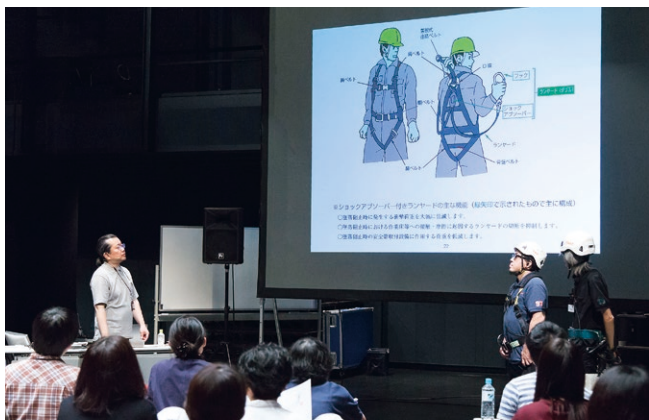
*9月28日(金)～10月14日(日) KAAT神奈川芸術劇場 白井晃演出「華氏451度」に出演(公演詳細はP9特集記事に掲載)

REVIEW

KAAT舞台技術講座 特別編 「制作者のための舞台技術講座」

2018年7月13日(金) 会場:KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

講師:堀内真人(KAAT神奈川芸術劇場 技術監督)



KAATでは、プロの舞台技術者を対象に、彼らが専門分野を超えて視野を広げ、スキルアップするための場として「舞台技術講座」を継続的に企画・開催しています。今回は、その特別編として制作者を対象にした講座を実施しました。制作者と舞台技術者は両輪となって劇場を運営するスタッフです。しかし、専門性の違いからお互いの仕事を逐一知り得ない現状にあり、そのニーズに応えたのが今回の企画です。講座前半では、劇場の舞台技術スタッフの仕込み作業を実際に見ながら作品の企画の立ち上げから終了までの流れを座学にて学び、そこに関わるさまざまな役割と責任や、安全により良い上演を行うための適切なスケジュール管理について学びました。講座後半では、照明機材やスピーカーの吊りこみを実際に行い、その重さや大きさを体感しました。また、照明

の高所作業を体験することで、現場にはどんな危険が潜んでいるか、舞台技術者が安全のために何に注意して作業しているのかを考え、気付く機会となりました。

全国から集まった約30名の制作担当者からは「制作業務からは見えなかった舞台技術の知識が深まった、全国的に開催されると良いと思う」「体感することで気付くリスクがたくさんあった」などの感想が寄せられました。



公益財団法人神奈川芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング/アサヒビル株式会社/アズビル株式会社/学校法人岩崎学園/株式会社ヴォートル/株式会社エス・シー・アライアンス/株式会社NHKアート株式会社勝烈庵/一般財団法人神奈川県教育福祉振興会/公益財団法人神奈川県結核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川孔文社/株式会社神奈川保健事業社神谷コーポレーション株式会社/カヤバシステムマシナリー株式会社/川崎北ロータリークラブ/川本工業株式会社/かをり商事株式会社/株式会社共栄社/株式会社ケイエスピー株式会社KSP/株式会社合同通信/コトブキシーティング株式会社/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局/株式会社清光社/月島機械株式会社株式会社テレビ神奈川/東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社/日生商工株式会社/日総ブレイン株式会社/株式会社野毛印刷社パナソニックESエンジニアリング株式会社/平安堂薬局/株式会社ホテル、ニューグランド/一般社団法人本牧関連産業振興協会/丸茂電機株式会社/三沢電機株式会社森平舞台機構株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社/株式会社有隣堂/株式会社豊商會/株式会社ユニコーン/株式会社横浜アーチスト/横浜新都市センター株式会社横浜信用金庫/弁護士法人横浜/パートナー法律事務所/横浜ビルシステム株式会社/株式会社ワイイーシーソリューションズ(匿名:1社)
永年個人賛助会員 川村恒明 **個人賛助会員** 味田健一/岩間良孝/岡田博子/黒瀬博晴/小山明枝/嶋田昌子/高岡俊之/橋本尚子/藤原靖也/三宅浩二/渡邊政彦(匿名:2名)

協賛・協力

能舞台協賛 ナイス株式会社

協力 神奈川総合設備株式会社/神奈川トヨタ自動車株式会社/崎陽軒/株式会社東芝/株式会社野毛印刷社/株式会社富士住建/三菱地所株式会社 (敬称略 2018年8月7日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ: 本部経営企画課 045-633-3760 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

劇場の達人

「サイン会に参加するには」

え・ユキナ



Kame かながわメンバーズ 登録無料!
KANAGAWA members メルマガ無料配信
チケットの先行予約が可能
登録はWEBで! www.kanagawa-arts.or.jp/kame

神奈川芸術プレスはここにあります。
神奈川県内の主な公共施設の情報コーナー、首都圏の公共ホール・公立図書館・博物館・書店・銀行等に配架しております。
WEBでも読めます! www.artspress.jp

MAGCUL 神奈川県発、文化発信ポータルサイト
MAGCUL マグカル ドット ネット
MAGCUL.NET

ご支援のお願い

公益財団法人
神奈川芸術文化財団

皆様のご支援が、
神奈川の文化と芸術を支える糧となります。

公益財団法人 神奈川芸術文化財団は、神奈川県民ホール、KAAT 神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂を運営し、音楽・演劇・オペラ・ミュージカル・ダンス・伝統芸能の公演、美術展などの幅広いプログラムをお届けしています。
これからも神奈川県内の文化・芸術を振興するとともに、神奈川から文化の発信を行なってまいります。
皆様のあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。

賛助会員
(法人・個人)

年間を通じて財団の事業全般にご賛助。

個別協賛
(法人・個人)

特定の公演等に対してご協賛。

広告スポンサー

主催公演のチラシや当日プログラム、「神奈川芸術プレス」などへの広告。

団体鑑賞

主催公演のチケットを福利厚生・販売促進等ツールとして。

弊財団への賛助会費(寄附金)には、税制上の優遇措置があります。

詳細・お申込み・お問合せ | 公益財団法人神奈川芸術文化財団 本部経営企画課 〒231-0023 横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル6階
電話: 045 (633) 3760 FAX: 045 (663) 3714 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

撮影: 本多康司

編集後記

神奈川県の「共生共創事業」がスタート。当財団が企画製作を担います。公演情報など毎号掲載していく予定ですのでご注目ください。(お亀) 芸術の秋。「花より団子」ではなく、「団子より花」でいきたいと思ひます。(倉)